明治之本若舍校正

新撰

地理

内梅敬編輯

雲鶴

全

明治新撰俳諧季寄鑑

花之本芥舎校正
芳水舎梅敲編輯

文開堂藏梓

歳旦之詞　歳旦に用ゐまる
雑物を集出也
但一年の字旦春季と云ものハ
今まに省く
乾坤　天象陰陽地儀水陸時候人事等一一
此部ニあつまるを以て一季也
とに三月ニ四季あり此部ハ其
まを以
但一季ニあさまるものハ其ものを以
てくるし
植物類　草木花實季と
ニ此部ニ収む
生類　禽獣虫魚ニ集

む○生類ニ云ふと云ふと毎
生類の用あるものハ其ものを
引せて云猶の便とし毎部
倣ふ
衣食類　衣類飲食此部
さまる故ニ銭ハ生類を
のみさるゝ衣食等ニ記
ものハ古ニ指ふ
神釋　神儀伎倆ニ
此部ニ関ニ記すものハ此部
に載也
公吏故事　古来用ひ季
と宣一所を記つもと云ふも
庶士の古ニの類ひ記すべき
ものハ今ニ於記く

一月 冬之
歳旦之詞
元日 一日
二日 三ヶ日
元旦 元朝
改旦 歯旦
賀正 賀春
初月
初明
初霜
初空

七月 夏
乾坤 乏坐月 四神月
孟夏月 涼雲月
材結 吟夏
丸夏 季夏
永夏 陽永
半夏生
小暑
大暑
溽暑

都て季節より花て詩家あり
そひを物を其呉国を注釈
しく両季に出す師と琴を用
拾おふへ〳〵
○芭蕉翁送語和情序
の弐去猶月花句依心滑山歌
水逸居如人倫より恋神歌
寄にもるも其云茶枝句色
且多句作やう切字文章俤
の品概き法格俳席者生
れ以脱五体句十体句詮
句を著其和心の便と集き
口授お助給と寸
洋々国八水芥舎校
門人山内梅敲編

日の初
元日
初日の出
年の初
元旦
改年
暑き日
年立つ日
年立つ月
年立つ夜
新年
年の夜
年立つ
年立つる

氷室
氷室のある所
氷室守る
極暑
冬瓦
暑き日
日つき
日暮し
三伏
湿風
風薫
涼風
月涼し
納涼

雪の年
年礼
門礼
礼者
年玉
年の巻
初夢
初鳥
初夢
門礼
いわい酒
祝い酒
儀ぞうに
祝儀

すゝみ
すゞしき
汗ふき
紅のすゝみ
夕すゞみ
門すゞみ
夜すゞみ
すゞみ床
泉殿
すゞみ所
すゞ風
すゞしき
やしきの男
冊使
勅使
すゞしき所
広敷
すゞしき役
すゞしき役人
本多のいまれ
白団
夕立の白団
夕立の団

年ぶるし	はやも	ほろ〳〵と	なの一ひ	土用三郎	はら〳〵井	虫干	土用干	はものむすこ	清水	泉	高き山					
網戸不そを云	かうそを云	ふるそを云	やくそなふ		井ぢく	虫でゞく		しゝふくむ		ゆるゝ						
初屋	屋ふき	みきそんとそうすゝ	忘そんぐ下					しゝろ								

若ひす	年男	若水	井ひき	初日	家徳	門松	門かざり	注連かざり	汗水	夏ぶし	夏祓	雷丸	香薷散	脚気	竹ぬく	
屋竈			井ぢく		恵方棚	神棚		腸ねぢり	掻(トリモチ)つく	夏引の糸		秋扇	妹を添	妹を乞	夏涼き	

門松
ねこそぎ 玉松
松の内
鏈竹
口の味
かさね菜
福口
かさね餅
鏈海老
掛乞
白づく染
売まき
遠ノ栄

万なり根
夏菊
夏の泥
夏の茶
夏迄
植物類
氷室の梅
ひむろ
蓮
白蓮
紅蓮
水芙蓉
芭蕉
芭蕉葉染
蓮の実

植木
うら白
山茶
掛軸
茗荷
結ひもの
ゆひかね
古箸
雑巾
かんそうふ
大根おろし
羊のかた
大福
唐蕪
菜子

沢潟（オモダカ）
庵（ガマ）の植
夕顔
旋花
風葉
叶牛蒡
刺（カラスアザミ）牛
ひりふき
日向葵
日車
日わり
ヒバウ（キバウ）
警
眼皮

歯固（ガタメ）	喰つミ	蓬莱	松梅（こうん）	餅（ふくろ）	かや	柚干	大根	橘	俵	田作（ごまめ）	小魚	料理物	

薤（ムクラジ）の壱	薤ころせる	もろ〳〵数し	約束の事	そらの尾	猪（コウノ）の壱	残すき事	麒麟（キリン）蘇事	赤事	寸鬼楚	寸魚かし	茎（ズイ）茗（ダケ）て仁	綸の壱	紫蘇（シソ）葛

森の子	ひ〳〵花豆	ひろき午房	弦巳昆布	水一香	紅壱	押飴	扱赤	星松明	初春草	稲つくる	糸ゐ機（タツシ）	国栖（クズ）奏	

蒜（ニラ）の壱	落葉の壱	猫柱の壱	山茶花（つらら茶）	羽根の壱	麻	乱さ苧（いろ〳〵苧）	ばら〳〵麻	蓑 苧	麦うり	管を苧	洗くも	青田	田草取

万菜
大黒菊
ゑおひ
猿引
独活
独活
破六弓
多葉つく
きり相る
小角豆
十八さゝけ
ヘチマ瓜の子
瓜
雪菜瓜
なんきん瓜
菜瓜
なんきん瓜
胡瓜
蔓の子
漬冬瓜
百日紅
さるすべり
玉独活
雪独活

抹橋
木耳
味噌漉
昆布巻
縁豆
生姜
福寿草
雪の朝
禅の話
雪の夜
空蟬
蟬の抜がら
折ゝ入り
羽をそろへ
若衆髷
編糠
引ゝめ
弁慶縞
若衆髷
新米初
松露
若書始
きそめ
はつそろ
きそめ

▲歳旦

試筆
宝引
福引
裏白連歌
三物連歌
三物仕諸
初商
新麦 新茶
青木
幸菱
手鞠ひ
手がら世
去年今年

▲生類

夏むし
金亀虫（コガネムシ）
▲玉むし 類
毛むし
蠓（マクナギ）
螬（スクモムシ）
海月（クラゲ）取（トル）
鰹釣る
▲鯨 類
鱝（エイ）
川狩
犬鯔
斑（ハン）猫（ミョウ）
壁蝨（ダニ） 風

六

ふぶき
傀儡師

乾坤

極初月
霜月
三冬月
季冬 [illegible]
小寒
大寒
寒の入
寒四郎
寒月
寒ざらし

[illegible]
[illegible]

衣食

氷餅
一夜酒
甘酒
古さけ
麻地酒
夏切菜
水の粉
麦こがし飯
葛水
砂糖水
枇杷葉水

▲一 乾坤

寒参	土用	初子の日	子の日の祭	卯杖	卯つち	人日	帰連茶	粥杖	かゆ柱 かゆの木	注連の内	藪入	初芝居

▲七 衣食

旅り衣	心太	切麦 冷温共	冷麦 日上	干瓜	奈良漬	蕎梅	梅干漬	納豆仕込	ひしを造ル	干瓢むく	沖鱠	葛饅	掛鯛氷

綸ひ紅	左義長	とんど 爆竹	吉書光	梅おろし	帳とぢ	牡之	植物類	寒梅	早咲梅	早梅 探梅	冬の梅	寒椿

削氷	水麦	腹當	汗とり	冷酒	夏酒	飯筑	新麦 東京	神祇	建勲祭 一日 山口	富士詣 一日 今	安房祭 十日 アハ	湊川祭 十三日 ツミ	祇園八坂詣 十一日

多植 多く植つゞけ

宝井の子

多の日吐松

小松引

七種

若菜

どぎやう

なゝくさ

仏の座

すゞしろ

せり

古七種

若菜

そろ多

そろりの若菜

絲 竈 十五日

祇園會

雪山縅

祇園永井御 十六日

七刀絲

巫若絲

月絲

菊多絲

絲 放下絲

船絲

芦邨山

山伏山

太多山

木城外山

塙城山

白糸五山

郭巨山

伯牙山

吾妻山

古出山

保呂山

天神山 二

傘絲 二本

右十七口

傘絲 雪舟筆

出来

稽古堂山

鯉山

君子山

吟吹山

鹿山

雪山

鹿吉山 二

新絲

以上廿四日

還幸

弦召

吟詠風名 松琴

山王祭 十五日 ナゴシ

季吟忌 十六日

博奕御禁 十九日

茨菰 ハナ菜指

水菜 京共

多入菜

多代多菜

根白菜

せり

蕗の薹

ふきの出方

おうと処

多菜

宇蘭

生姜

猫ヤ忠猫

つま忠猫

ねこさうの事

一 衣合

鯉膾
八目鰻膾
菱巣とふ
持旅り
宮中耳辺に出て狐狸ゝ会をとふ
力へ 塗とり
宮中魚成まり
衣合表
納らるのし
七ぐさの名 萩のかた
焼なるき
芋頭菊
小豆粥

七 卯秋

庭訓深 廿九日
庭广桑 廿二日
鉢ち竹切 廿日
笑錦桑 廿五日
絆海し
百え
茅の輪
鶏鉄段 蕪虫くら
添の蓑詩 小幌を手錦
夏錦く味
交差く 夕はしへ
交錦なく 一つき段
佐林川 形代

町汁
惜の庭丁
昔たんご
豆嗜
素麺葉
鯛味噌
小鯛
宮近り酒
豆腐汁
さんまやくみ
神秋
四方拝 一日
孤窓剃掛り

公子放生
醴酒供ス一葉 六日
忌日清飯
手浄の中ち 打加申ころく
霜嶋比陣

八月
秋
乾坤
文月
涼月 桑月
廿ち月 素秋
桑秋 無秋

元旦条 三日
天狗 夏至コノ条
其面富 七日
十日 恵子
吉良様 廿日
本朝報恩講曲
十日より七日
神宮条 ウマ
番おろし
厄神条 ヤハメ
菜摘川神事
流ぶし
鷺かいぎょう

立秋
秋たつ
夕べの悼
その秋
秋
雲暑
残暑
秋
秋
秋の風
初嵐
対にしも
ひやさ

公事故事

改始 四日
陸軍始 八日
踏歌
新年会 十一日
詩会合始
白馬節会
豊明節会 十九日

往のさくべ
新涼
みてまし
梢妻
その夕
笠雪
七夕
星合
牽牛 織女
天の川
銀河 星川
星夕
星のまゆ
男なるまさ 女なるまさ
秋の糸
散の梭

二月

春

乾坤

朧月

おぼろ月 霞む月

春陽 春去

新春 東君

節分

立春

日永

春永

余寒

春寒

凍返る

凍ゆるむ

凍解

氷解

氷消ゆ 氷ながる ひま

残る氷 春の氷

残る雪

春の雪

名残の雪

淡雪

雪とけ

雪汁 雪げ水

雪崩 雪なだれ

紅葉のはし つまむかへ舟

星逢ひ舟 乞巧奠

乞巧針 七種の舟

七箇の池 庭の立琴

硯あらひ

机洗ひ

七夕鞠

生身魂

盆の藪入

踊

扇置

團雅ル

ふる盆 廿日

以下三月に見ゆ

相撲

すまひぐさ 辻すまふ

新田踊

露

白つゆ うき露

露の玉 袖の露

霧

きりの海 霧の香

霧の雨 川ぎり

きりのまよひ 霧の間

秋の風

秋きぬ

蝉の宮

千秋楽

雪解 雪汁
はだれ はだら雪
霞
かすみ 八重かすみ
霞の海 霞の網
霞の衣 かすみ渡
かすむ
▲霞の谷 霞の関 雑
遠かすむ
長閑
霾
うらゝ
暖

新沼
▲沼 雑
植物部
椎の葉
うどの芽
芋の葉露
はゝきゝ草
一葉
一葉舟 一葉衣
桐
桐一葉 桐の葉落
柳葉ル
楓
青楓

ぬくし
水ぬるむ
永き日
遅きろ
暮遅き 暮かぬる
陽炎
糸ゆふ
いとゆふ 遊糸
佐保姫
春色
山笑
初東風
東風

木槿(ムクゲ)
桜(ハツ)
櫨(ハジ)
▲木の実 雑
椋
ひさぎ
木瓜の実
榠れん
常山花
楓
棗(ナツメ)
葡萄(ブドウ)
えびかづら
牽牛花(アサガホ)

若草
古草 草若葉
草萌 新草
ちつ草 百夜る草
野大根
木の芽
梅
白梅 やり梅
野梅 ゑんし梅
木の花 花の兄
梅ちらく まちかね草
とかくし 花梅
鶯宿梅 かしら梅

つくくれ木の実
解夏草
益母草
めはじき草
曼珠沙花
しびとはな

りうたん草
うらんの花
若菊の花
蓮の実
夕貝の花
青ほふつき
青瓠草
粟の穂

松の花
十かへりの花
若みとり
ことしの松 みとりかつら
若松
種おろし
畑打
畑返し
田をかへす
▲田を作 苗代
八十八夜 水なきを

柳
青柳 川柳

星草
穀精草
萆麻子
たうごま
稲葉
いなつまの露
家のワセ
稲の花
まみ草の花 水影草
早稲
つき田 小田の稲子
刀豆
隠元豆
西瓜

川添杉
川淀杉
玉杉
しゃくし杉
門杉
かぞう杉
こふ杉
ささこ杉
風ふき
かぞう杉
杉葉杉
うこ
▲杉の浦 杉の名所也
柴杉
植木
もつごろ
いせつまた
白玉植
つくし植
和へ植
▲植餌 植油 数と

冬瓜
南瓜
かぼちゃ
ささふり
まこも 稗
杜若
多く魚
ふちまた
生
杜子の苗稗子
皆ハ毒
竹杖ニ身
ぐろ
野菊
芋
萩
涙を花
竹を表

葵 ワサ 姑
烏 クロ サ 芋
ホトコロ 老 オホル 酒
猩 ド 活
苣
ちさ
川ちさ
三ツ葉芹
防風 フウ
山うど
雑菜指

萩の上風

芝
糸すゝき
まつすゝき
一すゝき
穂和すゝき
鬼灯
茶筅
なの花
お植のも
白きものも
きのみなし
弁慶草
犬子草
ナデ 萱
小うや
こうや

▲二 生類

白魚
めざし
魚氷に上る
獺魚を祭る
鷹化して鳩となる
百千鳥
鶯
黄鳥 匂ひ鳥
金衣鳥 経よみ鳥
春告鳥 歌よみ鳥
ひとくる鳥 鶯合
▲鶯塚 鶯の雑し
鷽(ウソ)

▲八 植物

かや草 かやらく
かやらやね
若たばこ
絲原
絲の根 めうが
たびらこ
薑(ハヂカミ)
牛房引
糸瓜(ヘチマ)
冬瓜(カモウリ)
芋
紫芋(トウノイモ)
小いも 親芋
ずいき

雲雀鳥 ひばりこ
雲雀(ヒバリ)落
ひばり笛 ひばり床
鶏合
かへる鴨
鳥さへづる
鳥の巣
鰆
鰊
蜆
あさり
衣食 雑
葩 蓑

葛(カツ)ノ蘿
平(ツノ)芋(イモ)
ぬかご
琉球芋
さね葛
葛の葉 葛うつろ
地辺の葛
生 雑
春の花や出
とや肉 さり
▲春のとや 鷹
春の山 家
春の山 帰る
秋 等

干かぶら
干大根
椿衣
梅花衣
ゆばら目 くわゐ
干饂
酢蛤
まめうち
木の芽漬
山椒の皮
鹿尾(ひじき)
海雲(もづく)
若和布

初音鳥
初音鶉
音きくとり
初鰹
虫
虫の音 虫の聲
虫合 虫ノ籠
松虫
人まつ虫
鈴虫
轡虫
馬追虫
きりぎりす
竈(イトド)虫

海苔
青のり 川海苔
紫のり 浅草のり
加田のり 稲のり
鳥貝
神祇
春日祭 一日
稲岡祭 い カハチ
鶏戸祭 二日 ヒラガ
祈年祭 四日
大原野祭 八日 山ヒロ
五穀祭 九日 キブ子
初午 ハナリ

[illegible]れきせ
蟋蟀(コウロギ)
促織(ハタオリ)
ほたる
螢
稲むし
蜻蛉
やんま 鬼やんま
赤とんぼ 杖つむし
蟷螂(カマキリ)
いなご
秋蟬
蜩(ヒグラシ)
くつくぼうし 寒蟬

初卯 八々
国韓神祭
菜種ヲ供
公吏故ヲ
紀元節 十一日
釈奠
大学寮ニ孔子並ニ十哲をまつる
三月
春
乾坤
如月
梅見月 梅つさ月
初花月 雪解月
小草生月 梅津月
令月 季半
中和 仲春
啓蟄
春分
彼岸
おかろ彼
▲彼と斗 彼く
初桜光
▲いまひとり 彼し
初雷
虫出し雷

ゑのうち等
蘆鳴虫
うの鳴
父恩し 父まし鳴
蛄蜊鳴
春の蝶
くさきの虫
田の虫送る
咲 秋晴く なる
小鶯
初音鶯
若鶯
兄ノ鶏
小隼
雀鷲（エソサイ）
撫鷹（ナデカタ）
諸鷹（モロカヘリ）
網掛鷹
新鷹
鷹狩
鶴吹
鶉
片うづら うづら床
うつらやう うづら網
鴫
うハ鴫 初しぎ
川原しぎ る田かしぎ
鴫のまがき

貝母の風
社日
社日の雨
二月彖
風中
梅花表
初茶
茶を初
徑を
初さくら
糸さくら
彼岸櫻

▲鴨の相雪 解ル
百舌鳥
鴨のまくわ
鴨のそめる紀
鹿
小男鹿か
つまを尋
庵笛
さそ 拍
呂ろ子
かせ紀
初茶
海
鰉
江鮭
川ちる紀
亀 スッポン
海
魚 ゼ

燒さくら
兒さくら
然岩櫻
ひと櫻
紅梅
未開梅
八重梅
ばくち梅
越中梅
唐綿梅
黄梅
接木
つぎ木

小鰯 ゼ
▲さくら 散ル
九万疋
鮎簗
ふし紀簗
苹ヒ
紫山 カゞシ子
ふし
引板
添水
吟ず
吟ず
吟年

拘杞
五加木
みそはぎ
野萩(ノヂハギ)
苗代
苗代菫(スミレ)
あふち
柽(ギョリウ)
柽(ギョリウ)の花
柽(ギョリウ)井
菖蒲
菜の花
菜柽 菜白 雞冠

焼(ヤキ)畠(ハタケ)
蘭(シノブ)草
秋の野
鮎(アユ)
蟋蟀(イトヅキムシ)
熱(キコリ)虫
衣食
刺鯖
蓮の飯
新茶の湯
焼米
つゝ麦
ぬる麦
ひや麦(スヽ)

大根の花
茗荷
虎杖(イタヾキ)
さゝつゝじ
草苺
おそ桜
猪(シヽ)
蕨
おそ〳〵
ぼたん
蘭(オモト)
つゝじ
蓮根堀

初午
強飯
踊かんざし
志の〳〵
神釈
氷川祭(一日)
北野祭(四日)
鷺明神祭(七日)
川魚だし
池の坊立花
六月祓(九日)
祇園祭(十日)
大学祭(十三日)
男山祭(十九日)

▲三 秋物

蓮 [illegible]	[illegible]ゆく	麻まく	まかふし	種いも	[illegible]菜	菜	[illegible]ナ	[illegible]	[illegible]	[illegible]	蕎麦	角くむ芦	行の角 行の雉	芦の芽	▲芦ノ穂 乾し	蓮 摘	か[illegible]芋	[illegible]	[illegible]芦	すくろの芦	刈生の芝	切生の芝	萩の鋏る	萩の若葉	葛の葉紫	烟やく	

▲八 神事

鹿児島祭 十五日 サツマ	三島祭 十六日 イヅ	名和祭 十六日 ハウキ	香取祭 廿日 下フサ	鎌倉祭 日 サガミ	鹿島祭 十八日 ヒタチ	盆会	魂祭	生身魂 むさ亦	霊棚 棚経	蓮の葉 ささげ	墓参	迎ひ火	送り火	大文字火 東山	船岡火 フタゴ	妙法火 マツガサキ	舟の火 オカ	提灯踊 イハクラ	題目踊 マツガサキ	六斎念仏踊	夏書納	高燈籠	切籠 切子燈籠	逆の峯入	掛待	門火	愛宕山祭

山薊
芝やき
野を焼
▲そよや新し
蓼（ニラ）
蒜（ニンニク）
野蒜（ノビル）
ひさつき
冨貴草の芽
青かうれ
麦麻の苗乃かくうねりのび
なんをこえゐさ
鳥くれもも
土栗

秋
乾坤
九月
葉月
長月 秋深し
月こそ
神無月
二百十日
白露

種蒔
百合根
山葵
湿り
▲あの根を必ず、埋めて湿をとる
生姜
蕗
つくつくし
つくつくし
ぢさい
蕗の薹
雑煮
帰雁

秋の
田面祝
田の実刈たのもの日
給カイ
竹春
長夜
夜寒
孔雀
鶺鴒
▲夜寒の里 新し
霜
うそ
澄むさむ
冷ヘヒヤ

小竹ノ	冨ル
去ル	
ノ	ノ
ノの名称	
ノ外皮	
鳥	ラ
カラス	
村と	ラ
村主	ラ
雀	ヲ
村ス	者
鳥ノ巣	
引	鴨
引	鶏
ラの巣	

暴ノ	風
野分	
水勢	カラ
雷声	如シ
秋夕	
秋ノ	気
良夜	
初汐	
晦月	ノ
月ヲ	看
月	
名月	
月ノ	光
此月ノ	空ノ
称ヘシ	
晦月	ノ
月ヲ	看
月	
空ノ	気
看ル	月

ラの古巣	
鶏	ラ
白尾	ラ
雉尾ノ	ラ
雉保姆	ラ
鴛	ラ
鴛	鴦
鴛化生	ノ法
雉	
ラ性	

年名月	
待宵月	
待宵ノ	小夜
宵ノ	口
宵ノ	口
望月	
待ツ	ラク
月ヲ	見ル
月ノ	ウサギ
兎ノ	影
月ノ	中ノ
山路	ノ法

蜂
蜜蜂
蜂子
蜜蜜蜂
蜂
細蜂
蜂の巣
蝶
てふく
胡蝶
乃牛羽蝶
菜の虫化蝶
蛇穴を出
てふく蛰出

のぐら月
ぐら月
月の雪
月の雲
月の水
月行
立行
居行
伏行
更待
支中月
筈取中月
乙鬼
常啄
螢蜾
金波
氷漏
氷鏡
云鬼
波響

地虫出る
田螺
雪虫
カノ居虫ナ
やどり貝
馬刀
マテ
蜷
ニナ
まそなまそなし
蝶
テフ
とろ出
初鮒
飯蛸
鯽子
ニシン
小ハ
鹿角蒸
鹿角
ノ鹿角
粧く

星月夜
星のきらく
秋渡し
秋の蒼を云
鮭
魚ヘンに圭
二日冬
百日男
酒造る家の
座人なり
柏物
白霞
バツカ
梅
初もゝち
名の木梅
梅
モトキ
擬

孕ミ鹿
龍（タツ）昇（ノボル）
玄冬西ヨリ天
秋ニ西ニ入海
衣食部
治聲ノ酒
社日酒
又秋ニモ
鮪鱠
餌ハ魚ノ
虫ノ蝶
カマキリ
神釈
出雲条 一日
清盛忌 四日 六ハラ

木摩（ヒノキ）茶
柱の茶
漆の茶
銀杏（イチョウ）
石榴（ザクロ）
蔔根堀
芙蓉
木ふよう
牡丹根分
芍薬の根分
菊の花
山ぶきの花
敗醤（オミナヘシ）茶
茶もみ

蕨 七日ノ 十四日
芝
茶宮 雛
二月半ば 一日ノ 十四日
ねこやなぎ
ねこん條
仏の別
雪のふる
涅盤会 十五日
黄梅忌 日
西行忌 十五日
日ふるふる十二月
日大杜明
紫苑
きゝやう
鬼のさゝ茶
茶野
字治の七園
茶引茶
綿紅（コウ）
おゝんのも
櫻杉（タトノ）茶
霧茶
月茶 まき茶
金剛茶
こまつあき
多（トリ）孫（ノ）
とろゝの茶
元政忌 八日
梅若祭 日
仏の別
雪のふる
ねこん條
涅盤会 十五日
黄梅忌 日
西行忌 十五日
日ふるふる十二月
日大杜明

義仲忌 二十日
徳者
宇佐祭 十八日 フゼン
初休忌 廿八日
比良八講
唐田祭 十六日 ツイヲ
精進 月
公事故事
時勢合 三日

四月
春
乾坤

三七の茶
萑 麥 カヤ
鶏肝茶
茗ける
丁来紅
茶けんそう
花茗荷
雁茶
蓬の植
はをみの芽
木槭芽
ふさ 新し
竹の四方
茶蘇

泳生
茶之月 稲月
玄冬之月 栗去
九悪 咳去
末去 去松
悪風 茶花
清明
穀雨
土用
槻茶の芽
槻の芽の月
雛 茶
雛 移之 雛つり

渡東の芽
芦の芽
竹の根
沢桔梗
水ひよひ
古名紅
竜膽
くたま 笹つんそう
山つんそう ちやさい
鶏草
茶堀
苦参引
なでやく引
豹うの骨

主簿 内裏ひな
紙びゐな
柳多刀
泊 干
▲干汐 彰ノ
土佐の油紙
忘れ雲
知れ一ト 名残の雲
ゑゝ虹
虹みてえや
▲虹八 彰ノ
妬ゑゝ
巨燵 塞

蓼の茶
蓼の根
馬蓼の毛
大蓼の茶
蕎麦の茶
車蒿(オバコノミ)子
茴香(ウイキヨウ)の実
なぐさの毛
通(アケビ)草
加ノもゝ 肌
むつさ〳〵
茨ノ枝
はゝきゞ〳〵
萎のも

お祭り 塞
詠生山
竹林
夏祭
夏を知
夏隠
夏ゑ
夏の月
夏の朝
夏の夕
夏ゑ〳〵

種ふく屋
種茄子
大根荷
菜花荷
かしまく
芥子荷
胡ゝ荷
小菜
貝割菜
はゝきゞ 蕨
百引菜
中ぬき大根
粟苅
秬苅

葛の茎葉
葛ようくず
野梭ひ

植物類

梔の花

白梔
緋梔り

櫻

山さくら
ハ重さくら
ひさくら
紅八重さくら
赤さくら
枝垂櫻
三重咲花

姫めしの原
けめしの茎

秤かり
蜀(シヨク)黍(キビ)
玉蜀(ナンバン)黍(キビ)
茸
なけうり
木れん粉
杉茸
ちゝけ
梭たけ
ちゝけ茸
ちゝけ
ふめ茸
いくぢ
しめぢ
なめこ

いせ櫻
八重咲
朱さくら
淡黄
人丸
西行
陽春把
匂ひ櫻
ちゝの尾
淡さくら
ふぐん櫻
墨染
雪井
濁さくら
雪ケ谷
ふぢ櫻
法輪寺
ぢ
うしの茎
なつの茎
仇名茎
暖茎
かぎ一茎
左山宿君
犬ぢさくら

杜露
梔茸
田茸
中稲
八朱植
稲もち
稲もく
稲干
稲拉
稲つゝ
稲糸
植うみ
蕎植
毛見
田毎月

○花

○廢美の巻

○画の巻

○狐あの巻

○古言三月に見る

茶筅 ち

花 き

茶の主

茶の宴

茶くり

茶の雫

茶の滴

茶の香

茶の湯

茶車

茶の名

数茶

茶筵

茶

木蓮花

松の田

そま人 田を守

小田守 山田寺

せんぶり茶

き丸 茶子

牛切

青苔 ちゝみたる

生薑

燕頷子

ちゝこ子

膚

ちゝうり かうづ

がん ほろ丁

茸丁 をはゝ丁

海棠

わすれ草 かんぞう

林檎乃花

杨梅の花

梨子の花

山ふし つゆふし

浦ふしの花

玉ハ 蜀ヒラ 葵

ちすゝ 梅

杏の花

木瓜の花

栗 花

かゝり

山雀

頬ホ 赤アカ

眉ホ ジ 画。ち

目白

舌ヒヤラ

小ロ 蛙ヤ ち

鶸ヒハ

ふち ほろ

ちゝこ子

丁字 又雲トモ

色鳥

五十雀

四十雀

かゝぶけ
麥もと苓

楸の茶

胡桃（クルミ）の茶

柳のたう
（ほくでん）
はくでんの子

果榧（クハリ）の茶

亞酔木（アセミ）の茶

庭梅

着物の色

長生

石南茶

沈丁茶

菜つぐね

翠雀

雨——古

連雀

豆鳥

豆ゆふ——

鶸（ヒヨトリ）

啄木（キツツキ）

鶫（ツクミ）

椋鳥（ムクトリ）

鶺鴒（セキレイ）

鶫（アトリ）

巧鳥

鶺鴒（レイヤ）

鵐（ロ）

辛夷
（こぶし）

連翹

高さご

小てまり
（こてまり）

雪柳
小米花

葉揃

染の染揃

今様
（こんやう）

麥の花

翡翠（カハセミ）又云共

鶸

鶺鴒（セキレイ）

鶺鴒（レイ）

ふとまゆづり

鶺鴒（セキレイ）

鶸 鶲（ヒタキ）又冬

楊屋子

ゐの花

蓴菜（ぬなわ）

鮭
（さけ）

河鹿
（かじか）

鮭
（さけ）

躑躅
ちらつゝじ 白 ちゝじ
おほつゝじ
雪ふりつゝじ 雪ふりつゝじ
蓬萊つゝじ 深山ちゝじ

蘇
しらそ
そかつら
蘇れ柳 ちりめんぐさ
蘇枋
蘇つる
蘇ぐさ
蘇金 蘇も
仙蓼 萩
けやき

江魚
ゑのり藻
蒿 蓼藻
蛇穴へ入
綿虫
衣食村
揚衣
砧
衣打 衣しぐれ
ちりめん 竹布 木綿
新綿
新米
そま米
醪 醪 濁

山吹
八重山ふき 実山吹
吾妻菊
雪霜きく
玄きく
毎年草
はくさう
みやこぐさ 七重草
金絲草
金風草
おびれ
五形
蓼藻

りうきう
新酒 冬年酒 中取
古酒
鰹 かつを
芭蕉布
苧麦
ぬうぎ飯
神歌
生国魂祭 四月三日
石上祭 十一月廿日
白髭祭 廿一日 北野
井伊谷祭 廿一日 浜松
皇霊祭 春秋分

蒟
名ばかり
味もつくり
丁子そう
薑
つれもなし
一茎そう
私引そう
一条そう
馬つなん
芽バナ蕊
茗荷
菜ナミ耳
樒の花
杉の葉
通草の花

弊玉 榊 十八日 出ル
八幡神社 十五日
日蔭 ヒカゲ
國懸 四日
半女 廿日
菩薩 長キ廿日
彼岸
公吏故ニ
私引
私迎

茗荷
水蕗 ミヤマ
烏薯 ダイコン
芋 麦
草 楠
蒲 動ク生
仇 苗
茄子 苗
芋の花
竹の花
犬つくび
私蕾ヲ云
蚕豆ノ花

詰之四社ヲ私引ヲ云
司召
六位以上ノ人ヲ任ジ改ヲ云ヒテ爵ヲ与フ
十月
秋
乾坤
菊月
木偏月 小田刈月
紫苑月 長月
相秋
晩秋 季秋
雪

生植

吟ふる
ふるさと入
ふる河ら
ふるの巣
ふるの巣
時ふるの巣
ふれ巣
四季花鳥ふる
ふるき
ふるふるき
ふる館
小竹曰館汲

雲降
土用
菊九日
後の雛
ふくれ雛
後の名月
後の月
豆名月
十三夜
月ノ名称
秋の色
山粧ふ
雲四面
雲さし
露雲
秋深き

のち館

移茶魚
移燈
さゝら鯛
桜魚
桜蛾
はくち貝
蚕
かふよ
ふ菜ふ

獣法る
よう薬
鮭在
深朝

蛬 秋

虫話
秋をたゝむ
秋ふかし
秋ふさぐ
冬待
冬ごもり
秋の限
秋の名残
秋の名
豺祭レ獣（オホカミ）

植物類

菊のきせ綿
ふるき
十月菊
後ら菜

菊
菜名
きくきく
笑きく
万きく

魚場
海哺
いろこ
かやもる
鳥賊
屋舎（シン キ）楼
海市
烏賊子

衣食類

草餅
蓬（母ヨモギ）もち
桃の酒
菜の羹

百合（ユリ）
多弁き 大きく
小きく 色の芳
乙女菜 百合菜
菊芳

草牡丹
仙蓼
我木香
万年（オモト）の実
御甲（ハト）ニケ芳

小蓮菜
蒟蒻（コンニャク）葛玄
芹の種珍
石玄菱

かき菜 芥菜
ほうれん草
白菜
神秋

大和菜一日
松尾菜二日
五郎菜日
武弁大菜三日

梅宮菜日
護王菜四日 二日
慶雲菜四日 ヤト
新田菜日 日

ほうれん草

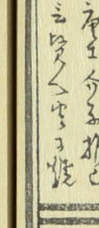
野上戸
芭蕉菜
うら枯
雪山の錦
秋の二葉
菜もち
菜面菜
紅菜
根元菜
楠（シン）もち
白菜（ハクサイ）

大神祭 九日
稲つきの祭 日
日吉祭 酉日
加茂祭 十日
市姫祭 十日
葵祭
忌さき 祓ともす
吉田祭 十八日
安倉居祭 あらいも
神祭

清祓祭
物祓祭
榎もち
杏子祭
榊祭
松もち
国中祭
歳男
猫祭
もち祭
下もち
色見祭
五穀ふり祭
色吉ふり祭

牡丹すき 酉
榎もち 午
陽気忌 二日
星祭し 十二日 八月座
若布忌 十四日
人丸忌 廿八日
十三参 サガ
嵯峨大念仏
多武大念仏
多武延年 十六日 十一日 中山
清滝祓 九日 廿日
清忌 十九日 廿五日
五穀の種

あら祭 荒ぶる
もち祭
多祭 競
松乃実
南瓜の実
冬の実
柿の実
榛のみ
だりの実



公事故事

妙ら古了

寒食

寒食 今ふ祭と云ふくせう

出家仏

順峯入

峯入

靖國祭 六月

開帳

宗因忌 廿八日

蓮如忌 九日

九年毎

念仏

法事

五月

節句

乾坤

初月 初三日月

七夕 七月

重五 五月

八十八夜

立夏

せんだんの実

菩提子

柏 槲

榊

柚

柚子

柊

蜜柑

金柑

果桐

けんぽなし

李の橋

仏手柑

西洋子

橙

檸檬

柾油の実

梗

茅萁

柊の実

団栗

栗

梨

小滴
あのをしたゝり

経帷
ゆかたかたびら

和雪液

大矢數
ほうそうをやまひて
全快をいのるに
やくそく

午（ヒル）睡
五月八日ゟ初り
九月一日ニヲハル

三尺寝
日ぐらしの
三尺のうちあそぶ

蚊（カ）帳（ヤ）

ゆふがほ
あみのうちより

棯
ゆふがほに
似て大也

柏葉
ゆふがほに
似て小也

豇豆引

小豆引

迯稲
おくて

汗
汗を拭

赤汗
病の汗

扇
奉扇
孔うがき

栄扇

団扇
うちわ

日傘
編笠

蓑
雨具

蒲団
ふとん

蚊帳
ゑのり平

蚊遣
蚊の
煙

蠅帳
蠅除

屏風

干土田
ふゆ

稙の実
晩稲

八重
豚一匹の子宮
のりたるを称
又ふた

鬼茅
三稜草

生姜

紅茶館

屠蘇酒

実麦麻

蚊の栗柄
皮ばかり入
酒と飲

網代

植物部
牡丹 おほきほそ
名くりそ ホロそ
萼そのまま
苟菜 ころす
萼の字あれ
杜若 かきつばた
花の名
菩子のたね
美人草
菱

海下来ル
衣倉部
菊の酒
栗設ふ
設ふり おふり
ふぐり酒
ひしめ酒
柚味噌
とち餅
粉蕎麦
そば豆
黄精 ヲウシ
甘干

かきつばた
二葉 ふたば
ちちそう
主菱
小ひし 実ひし
著莪
一八
麦の杜
麦苗 麦なんそう
菜花
紫菜
風車
うはおそ
衣杜若

鰯 カラ スミ
菊こより
新豌衣
神歌
卵宮参
小野大祭 四月
赤丹祭 七日 六月
吹香宮祭 九日
半夏祭
鞦韆祭
四宮祭 十日
五条天神祭
宝永祭 十一日 八条

▲五 植物

百日紅
天蓼（マタヽビ）
山ちさの花
去乃ね
むしくの花
苣（チサ）の薹
若根
蓮のそね
麦門冬
さとり草
蕙
石（セキ）斛（コク）
多宝揃草

▲十 神祇

元禄祭 十二日
牛まつり
亥猪餅 玄猪
寶の市
升市
招魂祭 十五日 靈山
神嘗祭 十七日
おや祭 日
それ祭 十八日
探湯神祭
淀祭 廿二日
玉河忌 十一日
粟田祭
長崎祭

野脚（ユキノシタ）花
宝鐸草
蘭の花
樊噲草
曼陀草
玉巻芭蕉
玉巻葛
連だま
下毛
山しもつけ 草下つけ
寝覚子
木いちご 草いちご
蛇いちご

清明祭
在祭
公吏故事
菊花の宴
ふ禧田の奏

十一月

冬
乾坤
神楽月
霜月 神楽月
霜月 神冬
孟冬 應鐘
立冬
小雪

若葉
▲まつ葉ともいふ
若葉の色
若楓
糸芭蕉
新樹
木の芽
葉桜
桜の実
木の葉
うつきのを
▲五月ともいふ

小雪
小六月
暦奏
炭売
灸の子
時雨
神〻れ
小しぐれ
夕時雨
小雨〻れ
▲ちら〳〵雪
川ぶちの時雨
風花
木がらし
砂雪

常盤木
▲松の雪
松の雪月夜
椙の花
葛乃葉
げんのせ

牛蒡(イバラ)
薔薇(サウび)
茶柚
多ゆり茶
はくてうの花
かふみの茶
榊の茶
櫻桐(シユロ)の茶

ちら雪
ちら雪
砂氷
氷解
雪さま
雪籠
冬の内へ
小雪ふる
氷ちる
巨燵切
あらつばん

雁初
雁日
雁来

蕨つくし
菫すみれの花
厚朴の花
玉木の花
菖蒲の花
岩梨
苔桃
苔もゝ
苔盤菜苔菜
茨
木いばら
茱萸ぐみの花
榲桲の花
雪柳の花
筆
たんぽゝ
根葱の花
九輪草の花
極の花
含羞草

霙みぞれ
雪
雪水
氷
氷柱
氷面鏡
寒
寒雀
寒鴉
凍てる
結氷る

含羞草
極の花
九輪草の花
根葱の花
雪柳の花
筆
たんぽゝ
篠の子
綠萍
豆柿
ぺんくさ
苓の実
ぐんまん花

月冴る
冬の月
山眠る
炭
湯婆
巨燵
埋火
囲炉裏
炉
炉開
榾
榾の火
炬燵

▲五 生類

よし雀 よしきり
鶯雛子
老鶯
乱鶯
蝙蝠
かはほり 蚊喰鳥
飛螢
蛛の子
▲蛛の巣 雑之
枝蛙
[illegible]出
蚕の蝶
[illegible]の花

▲土 植物

後花
えり咲 二度咲
冬木の桜
松風の吟
室咲
むろの梅
枯梅
枇杷の花
八手の花
柊の花
樒の花
茶梅花
もみぢ植 又秋とも
冬牡丹

初鰹
かつを
鹿袋角
以下夏月 ワクる
蝉
蝸牛
かたつぶり でゞむし
孑孑虫
蚰蜒
蠅
蠅虎 ハイトリクモ
蚊
蚊やり 蚊ばしら

草かるゝ
枯芦
枯尾花
芝枯
菊かるゝ
萩かるゝ
萩かるゝ
蔦かるゝ
雪の下
石蕗の花
麦蒔
蕎麦苅
葱
大根引

▲五 生類

枝とんぼう

蚤

蜘ト

蛭ヒル

孑孑ホウフリ

蓑虫

水馬

かつをむし

青鷺

鷭バン

通し鴨

翡翠

鵜飼

▲十 生類

青木の実

藪柑子

かし橘

以下冬之月にいる

水仙

寒菊

冬菜

冬木立

▲枯木立 枯しき

枯野

くさくさ

葱

ひともじ ねぶか

胡蘿蔔引

鵜川 鵜さらい

鵜舟 鵜篝

鵜縄 松川

▲放ち鵜 鵜匠

鮎

淀むしはぜ

鯉コイ

氷鮭

氷鯖

魚簗

やなぎ

衣食類

更衣

生類

鶯の子吟

きりぎりす

氷魚

鱈タラ

鰍ウルメ

以下冬之月にいる

鮟鱇

河豚

牡蠣カキ

生海鼠

きんこ そのまま

冬鳥

白ラヽカ 衣
神裕
ウヽセ 袗
褞袍
褌衣
和妙衣
ウヽ衣
黄酒
新茶
古茶
茶結
生ぶ一
箏漬ル
竿ノ頂ニ
ワル

深春
野雪
野
生かも 小鴨
さゐ鴨
羽一ろ 黒くも
沉ム
ウヅむ
ウちのむ
子鳥
川ふる むくよふる
小取ふる ちゐふる
浦ちろ ちろくふる
鴛 フレ トリ

新麦
▲麦飯 麦加ヘ
糠味噌
玉竹一
冷一汁
煮ル一
汲ム飯
熬ルと
干鮭
干鱈
干烏賊
飯
ヨヲ 一ホス

水鬼 ツク
みそけん
味醂
柴漬
ボツ 筍
納代等
ウちろ あーろく
衣食表
夷のヲ餞
茶の口切
干菜納
干大根 納
カケ菜
生干菜

みそすり　飯すり　胡麻すり　風呂の薬　神祭　筑前煮一日　鯛すまし　貴船の水　虎杖くぐり　菊池煮五日　加茂競馬五日　靖國祭六日　市姫祭十三日　歌日吉祭十四日

切干　煮漬　きらず菜　大根　節句三月三日　餡汁　すまし汁　豆腐　油揚腸　雪子　貝焼　ちくわやき　納豆汁　蕎麦湯

今宮祭十九日　御霊祭八日　茶摘八日　エイ山　戒壇堂開帳日　夏入　夏野　支当　支当　支経　松尾祭　稲荷祭　潅仏　仏生会　茶供養　多染　三井寺

大根ふろ吹　汁中　ぬべきん　角ぎん　杜ぐきん　皮足袋　綿入　布子　又教吉　綿子　羽着　重着　綿帽子　戒名　号戒名　手作の衣服多し

六月
夏
乾坤
皐月
五苗月 月之穴月
猶月 鈴月
梅之月 仲夏
半年 芥年
藥玉日
憘
菖蒲太刀
かさり兜
はゝ揃鬼 はゝふ甲

▲六 部冊
▲土 神祇

蒲團
▲取る敷し
傘
冥子傘
蓑子笠
小傘
紙傘
古紅傘
鴛鴦傘
雲けし
雪けし
神祇
神送り
神の掠

神ある日
神無月
神祇
印地
竹酔日
虎が涙の雨 八日
徽雨
入梅
梅の雨
五月雨
さみだれ さつき雨
梅雨時
船路
鳥さへ

神の留主
大社神事
神逐
諸國集六日
水雲潤集七日
於山集十七日
雲一忌
雲母集
蛇不蝉
誓文払

達磨忌
芭蕉忌十二日
四睡忌 三翁忌
吊合蝉

芝種
夏至
添加紅
植物類
菖蒲ふく
蓮ふく
ひやうたん
ちまき根
あやめ引
ひめ小仏
白菖蒲
菖蒲湯
蘭湯

法系会式
十夜
新嘗祭 廿三日
鎮魂祭 廿二日
奉幣使 廿二日より廿八日まで
東山忌 廿二日
吉取越 吉日
更衣 日
公事故
天長節 三日 今日より此節参内あり
内宴 猪
若菜会

冬
乾坤
極月
乙月
雪見 一陽
仲冬 至半
神事月 後月
大雪
冬至
凝冬
歳之終尾
涼雪
雪見 子祝ふ元

キソイ 競
カリ 狩
菜 茶 茶粥
草合 百草合せ
蓮 茶 蓮生 祝ふ
花かつみ
生薑茶
生もの 祝ふ
田植
早少女
早苗
早苗元
出苗

▲六 植物

若苗 田植草
菱の花
川骨
藻の花
藻を刈
▲葎茂し
蓮の花
蓴菜の花
花ざくろ
花あやめ
藪萱草
紅の花
末つむ花
鉄線花
忘草の花
くわん草の花
紫陽花
ほ草の 四ひらの花
百合の花
さゆり 姫ゆり
車ゆり 枝ゆり
すそゆり かのこゆり
鬼ゆり 茂り草
萱の花
雪の下花
[illegible]

▲十二 乾坤

かるく雪
雪しまき
はだれ雪
雪やけ
雪垣
雪竿
雪おろし
雪丸げ
雪仏
雪女
雪つぶて
かんじき 橇
雪車
雪沓
はだら雪
霙
霰
凍
さゆる
氷柱
垂氷
霜柱
霜氷る
露氷る
鐘氷る
針供養
植物類
冬至梅

ナヨウロギ
なよ石菖
かやつりぐさ
ヤブレカブミ
蛇苺
夏菊
名乗草
石竹
ナデシコ
瞿麦
たわらてまり
かしわてまり
川原撫子
みやまおだまき
常夏
袖ひぢ草
十薬
天南星

ヤマブキ
山吹
ナヨウロギ
なよ石菖
ほたるが堤
蛍袋
金鈴草
蘭草
紅花前
紫根堀
生姜
ぬくめ草
立苦草
カノブツ
杜父魚
鮠
くちなし
くだもの
詰草

石蕗
いぬふき
かきどほし草
まんも草の花
南天の花
梔の花
ほたるぶくろの花
金鈴花
忍冬の花
すいかづらの花
末央柳
ほたる蘺躑
柳の花
合歓花

鮠
以下冬三月ニ
アリ
鯊
鯊
鯊
鯊
鯊
大鯊
汁一鯊
兄鯊
牛鯊
ヤナギ
鯵
物梅の花
物梅の蕾
蓮の葉

栗の条
柘榴の条
櫨の条
ゆすらの条
せんだんの条
生胡桃
くるみ 新し
桑の実
杏の条
かうり
李 梅
小梅 ちいさき梅
梅 梅

狩杖
猟ニ用ユル縄
弩 犬
ぬす立る
弩立る
弩立をとゞむる
弩の矢竹
ちう〳〵草
餉
おゝくの
然穴ニ入

衣食部
袴 着

李（スモヽ）
柘榴
梨 柚
瓜の条
越瓜
あさ瓜 ワさ瓜
胡瓜（キウリ）
苽の子
栗 筈
乾び筈
胡ゟ筈
稗団く
蕎麦引

かつまぐめ
乙子の餅
神釈
柚ひ〻仮
生姜酒
玉子酒
みぞれ酒
ゆでん酒
吸生鰒
二度燗
吹革茶
月次茶四日
雲日陰ノ茶
四後日能

豌豆引
莧
きくらげ
松の茶
ひろぎ
茅花
蓍竹
〃竹
仆柱 十三日
覇王樹（サボテン）茶
二雪茶精
竹之丸刈

甲子祭
永氣忌 三日
雪也忌 十三日
新吓
淺茅市 十七日 十八日
淨菜忌 廿日
大祓 廿日
めうり神子 下
平安節分
神樂
里神樂
小忌衣
神ふうき

生業

蟬
ふうせん
蜘を入
魚ふれ巢
鳥の浮巢
▲鳥彩し
水鶏
野ねづみ
詰ふ毛を磨
羽ぬけ鳥
蝟（カモ）
鹿乃子
獸物

神祇
猟物（モノ）歌
大歳（オホサイ）祭
小前張
星祝
行事ふれ神ふうきふり
公事故事
遣（ツカヒ）儀
鬼やらひふうやらふ
大ふう人鬼をつかひ後上人ふを追ふ
歳暮之詞
師走
すゝ拂

ゑらひ物
照射
竹串
はつ男
小鯵（アヂ）
蛆
蚤虫
蛇衣ぬぐ
鶉鶏生
腐草化螢成
五位鷺
鯨の子生

衣食数

粽
芦ちまき　笹ちまき
菰ちまき　かざり粽
柏餅
菖蒲酒
醴を造
薤（ラツキヨウ）漬ル
蓮衣
綟子衣
帷子
菖蒲帷子
菖蒲ゆかた
うすもの

掛乞まとり
節季候
うろう
餅搗
餅花
餅むしろ
果ひらひ
年越
柊さし
柊売
鰯さす
豆打
豆まきを
寳船

厄拂
厄おとし
貘（バク）の札
はくの札
年忘
年の市
神打売
橙売
ゆづり葉売
葉竹売
かやかち栗売
飾松売
門松うり
門松ゆふむ

単もの
ひとへ羽織
夏ころも 蓆羽織
辻が花
晒布
生布 木ひら
半さらし 麻布

神祇

丹生川上祭 一日 ヤマト
東照祭 日 下ツケ
貴船祭 日 山シロ
月次祭 四日
藤森祭 五日
縣祭 日 ウヂ
蝉丸忌 十三日
丈山忌 日
氷川祭 十四日 ムサシ
八坂祭 十五日
札幌祭 日 石カリ
鞍馬竹切 二十日
熱田祭 廿一日 ヲハリ
頼政忌 廿六日
業平忌 廿八日
夏越祭 日
住吉祭 晦日
大祓 日

年忘
年木樵
手本
衣配
大原雑魚寝
吉田大祓
五条天神詣
をけら参 鍛のまつり
古ごよみ
暦納
[illegible]果る暦
[illegible]暦
ことしの末
札納
星仏名
年籠
年の暮
行年
年の末
年乃終
年の尾
去る年
流るゝ年
惜む年
年満る
年の流
年の果
年の限

公事故實

艾　虎

艾人　蒲人

菖蒲ヲ以テ虎ヲ作ル事ハ端午ノ節句ヲ吉日トスル也

藥　玉

菖蒲ヲ五色ノ糸ニテヒヾクヽレバ年中ノ邪氣ヲ拂フトイフ

五色ノ日

左ノ如キノ事ヲ云フ

白　青　赤　黒　黄

右五色ノ糸ヲ以テ作ル

上六月終

年仕舞

其ノ年ノ事ヲ

年ノ名殘

小晦日

大三十日

掛乞

うけとり

年ノ取

其ノ年ヲ

下六月終

○芭蕉翁口授

露ハ打ヲ吹ク風ノ音

雪ハ打ヲ吹ク風ノ音

雪ハ打ヲ吹ク夕ヘカナ

雪ハ打ヲ吹ク夕ヘカナ

秋風ハ打ヲ吹ク夕ヘカナ

夏ハ野山ヲ吹ク風

冬ハ野山ヲ吹ク風

雪ハ打ヲ吹ク風ノ音

五月雨ハ降リ殘シテ

雪ハ降リ殘シテ

秋ノ雨ハ降リ殘シテ

雨ハ降リ殘シテ

水鳥ハ足ヲ

川まハ　ふたゝ
海のまハ　ふたゝ
まてうひきて　ふたゝ
まゝまびきて　ふたゝ
本のまゝハ　ふたゝ
まゝのまゝハ　ふたゝ
深雪ハ　ふたゝ
翁おまハ　ふたゝ
上話ハ　ふたゝ
下話ハ　ふたゝ
清樂ハ　ふたゝ
事終則　ふたゝ

○懐紙式

百韻

表八句　七句目　月

裏十四　九句目　十三句目　月
二ウ八句　七句目
裏十二　七句目　十一句目
名ウ六句　五句目
五十韻
歌仙
裏十四　九句目　十三句目　月
二ウ十四　初ウ　月
三ウ十四　二ウ二　日
名ウ十三　七句目　十二句目
名ウ八句　七句目
裏十二　七句目　十一句目
名ウ六句　五句目
四十四
裏十四　九句目　十三句目　月
二ウ八句　七句目
裏十二　七句目　十一句目
名ウ六句　五句目
七十二候
裏八句　七句目　月
二ウ十四　十三句目　月
名ウ十四　二ウ二　日
裏十四　九句目　十三句目　月
二ウ十四　初ウニ　日
名ウ十三　二ウ二　日
裏十四　九句目　十三句目　月
名ウ十四　十三句目　月
右二折　名ウ三　裏二
裏十四　九句目　十三句目　月
名ウ十三　十二句目　月
右二折　名ウ三　裏二
裏十四　九句目　十三句目　月
名ウ十三　二ウ二　日
右四折　名ウ七　裏四
百韻二ノ折

名ウ八句 七ノ〆 第

源氏紅

表 六句 五ノ〆 月
裏 十一 十ノ〆 月 名
二ウ十二 初ウ二 日
名ウ十二 二ウ二 日
右三折 月五 第三

米字

表 十一 七ノ〆 月 第
二ウ十一 十ノ〆 月
三ウ十一 初ウ二 日
名ウ十一 二ウ二 日
名ウ八句 七ノ〆 第
右四折 月七 第四

易

表 十二 七ノ〆 月 名
二ウ十二 十一ノ〆 月
名ウ十二 初ウ二 日
名ウ八句 七ノ〆 名
右三折 月五 第三

表 六句 五ノ〆 月
二ウ十二 十ノ〆 月
名ウ十二 二ウ二 日
右三折 月五 第三

表 八句 七ノ〆 月
二ウ十一 十ノ〆 月
三ウ十一 二ウ二 日
名ウ十一 三ウ二 日
右四折 月七 第四

表 八句 七ノ〆 月
二ウ十二 十一ノ〆 月
名ウ十二 二ウ二 日
右三折 月五 第三

十八公

表 十句 九ノ〆 月
右一折 月一 第一

長歌紗

表 八句 七ノ〆 月
名ウ十六 初ウ二 日
右二折 月二 第二

短歌紗

表 四句 八ノ〆 月
名ウ八句 七ノ〆 月
右二折 月二 第二

千句

百韻十巻ヽ
表 二句 八ノ〆 月
裏 二句 八ノ〆 月
名ウ八句 七ノ〆 月
右二折 月二 第二

去雅句式

夏 五句去
冬 五句去
秋 五句去
春 五句去
山 三句去

懐紙式畢

愛句八 四事ヨベ一
秋二句 冬二句

水邊之句去
拒物之句去
生歟句
許歟之句去
愁　之句去
哀傷之句去
哀歟之句去
倉歟之句去
居所之句去
詠物之句去
天象之句去
日と月とは星八句一句也
名所句
人倫　之句去
水と空とは九句ある也
魚鳥ある句をば句也
釈教　之句去
季　之句去
述情　之句去
夜分　之句去
假令食物と云句ある句也
風体　之句去
旅体　之句去

山歟之詞
嶽　嶂
麓　高根
洞　九折
岫　畑
関　嶋
山峯
谷峠
陂尾上
田岸竈
岡稼
山焼

非山歟詞
告所　之句
山城山鳥
裾野岩石
猿山鳩
海川
濱沢
渟覚

水邊詞
浦江
沼橋

樋 溝 池堤
湊流 渡渕
渚崎 沖津
磯浪 汀泡
漲汐 激渕
溝筏 海士奥
藻 深水海苔
蓴 永岸
蓮 細川物
藻 汲汲 竈
泉 井戸水
水鳥 月の出汐 満ち川の字
非水鳥詞 三は世間男女の中

神祇の詞

社 ほこら
鏡 木綿
神子 巫
神楽 神楽殿
長吉 吉祥殿
神楽 神楽殿
注連 注連縄
大麻 大ぬさ 柏掌
洗米 洗米
玉串 玉串
乙女 神子
忌竹 斎竹
三寸 三寸榊
酒主 巫

田 苗代
住吉 鵜飼
佐野 鴫
笘 苫屋 岩戸

中ニ釈教語

非釈教詞 悪方 年徳
稽胡 男山 誕生 誕辰
佐保姫 龍田姫 桜守の事

釈教の詞 仏菩薩の名
僧の官名 法師の名
舎利 入定 拂子 如意
諸宗 禁足 法回 禅定
記念 悟道 五戒 破戒
持戒 血脈 護广 柱杖
錫杖 因果 六道 極楽
地獄 引導 末世 行堂
斎(トキ) 非時 五輪 塔婆
灌頂 発心 五結 摂結

木魚 経 生具 順礼
精舎 和讃 談義 笈
蜆徒 尼 流潅 功法
非釈教詞 煩悩 諸法
碩学 書記 鐘
医者の釈名 諸職人の釈名

恋之詞
水汲ふ うつ枝
縮なり ひきちぎ うつり香 袖の香
懐背 ちぎり むすぶの外
新まくら 後の朝 はなれ そまくり
虫の声 きぬぎぬ 初恋のはる 林之存
粧ふ女姿 おもかげ 夕ぐれ さそぶ
門立 よりより 来まぬ 肌よせ
ふさ道 立咲 まよう さまや

うたゝ名
うたゝ男

悼亡詞

悼亡
哀傷
挽詩

治部
治部小姓
孫
名護屋妹
えん
おんな
おうけ
けはい
出合右
庄司 辻君
傾城町の名

非悪詞

おく抜
後妻
かつま
ゆかり
下女
ふうど
挨拶

無常之詞

死
人魂
墓
白骨
火葬
土葬
土饅頭
卒塔婆
墓碑銘

述懐詞

病人
浪人
老
すき世
娘
世渡
古家

非述懐詞

亟
庵
厨
草庵

賤山賤
菴
柴の戸

夜分之詞 月 星
明星 曙 宵 寐
枕 夢 神楽 日待
七夕 燈 稲妻 狐
横雲 よるのめ 花火 ち火 大
夜話 夜着 うたゝね 夜伽
狸 大明方 人魂 蒲団
床 きぬ〳〵 辻君 夜鷹
蝙蝠 寐ざま 砧 蚊帳
追儺 除夜

非夜分詞
鐘 入舟
酒 しぐれ 暮の月 夕月
有明 涼し 稲光 一夜酒
芦火 青鳥 きぬた 虫の声

ほとゝぎす 朧月 明ぼの 名所の月

人倫之詞 夜分に不及

非人倫之詞
帝 太子
皇女 女院 新院 親王
門跡 大君 大名 仙人
一門 人質 手引 山伏
代官 長老 和尚 法友
某 凡夫 俗 入道
民 百姓 大工 旦那
私 うき名 附舟 婿
外科 本道 身 死ぬ
二人 三人

居所之詞 夜分に不及

非居所詞 社 寺

堂　堂舎
室の戸築山　荘　市坊
町　芝居

衣類之詞　きもの及そだち

非衣類詞　虫垂物衣

素襖袴　奴袴裃衣
白張浄衣　袈裟上下
かりぎぬ　十法水衣　法衣
常　紅巾　足袋　主付
股引　袴半　着衣合羽
褌　帽子

旅体之詞

送おくり　荷掛とめ女
出女　指藁　木賃　旅賃

富原川留　馬借　宿屋
小荷駄　駄賃　蔵前
宿札　駕籠　一里塚
宿札　駕尻

火体之詞

焼火　煙　灰
焼火燵　炉　巨燵

風体之詞

扇　雲　岸竈
そよぐ　吹風　絵
芦の雫

降物之詞

雪　虹　雲　霰
汐炎　雨　相合傘
稲妻　稲光　月のうみ
右ハつゆ霜雪ハ時候ニ記ス

笠の名称

雲の正笠の月　笠つき　あまつさ
笠の陰　ロ上　笠の陰　ロ上
花の笠　梅の笠　もみの笠　ロ上
笠の露　ロ上　花の雫　梅ぬれ
笠結　神楽　花かご　祝ふこと
花四　ロ上　花の友　人偏し
笠守　ロ上　花の主　ロ上
笠と支　人偏　花を書　ロ上
花を主　ロ上　笠の宿　屋敷
笠の傾　ロ上　笠を宿　春如
笠の露　ロ上　笠の桜　附る
桜ぬれ笠　吉野笠　名所
古の正笠　梅ぬれ　ここも有

褒美乃正笠
笠衣　笠の紐　上
笠の名　年の名　上
花の笠　花の要　上
笠うつ　笠の敵　笠ん

右の外梅ぬれ　ここも有

残物の笠　終の笠　梅ぬれ
夏の正笠　夏笠の名　お祓笠
笠つく　敵をも　笠のごい　まもる
笠つく　敵をも　氷室の笠
聞つく笠むすぶ　右これも　梅ぬれ　ここも有
秋の正笠　笠やぶる　笠の綱　上
冬の正笠　綱笠　梅ぬれ　ここも有
綾笠梅ぬれ　ここも有

月赤の字註よりおそるべし
月と悪玉むすめをそるべし
月の異名 三鬼 王蟾
光妹嫦娥 桂影 冰輪
水水金波 玄鬼銀盤
けらえ男 桂男 待宵
いさよい 立待 居待 首待
たのおそうまち 取り月を画の月に用ふべし
玄の月 秋月 月雲む
玄の三月 玄の月 月もとより
月と玄の字おむするなし
玄の月 月宵ー 明易き月
夜の月 月涼し
夜の雲取 夜の雲
冬の月 月寒し 冬のうめ もとより

月赤の字註よりおそるべし
月と悪玉むすめをそるべし
月の異名 三鬼 王蟾
光妹嫦娥 桂影 冰輪
水水金波 玄鬼銀盤
けらえ男 桂男 待宵
いさよい 立待 居待 首待
たのおそうまち 取り月を画の月に用ふべし
玄の月 秋月 月雲む
玄の三月 玄の月 月もとより
月と玄の字おむするなし
玄の月 月寒し 明易き月
夜の雲取 夜の雲
冬の月 月寒し 冬のうめ もとより

秋の月 雪の月 山の月
胸の月 はだ月の名 夜もすがら
月のる 百敷や八面玲瓏
空を走ー 名ある雲ハ大さ不出来
月と月五月雨おむ面白し
月と月次の月ころも玄月 日星二月玄
月と詠きけるべし
雲きらば条ハ消すべし
月と降きらば月雪の朝
月夜の宵 月晴る月銀雪雲
星月夜 月次の月
右月のまゝとても雨の月と不用之
初字のつく 秋、九月、
なり、めり、とそ、又、也、候、

秋の月 雪の月 山の月
胸の月 はだ月の名 夜もすがら
月のる 百敷や八面玲瓏
空を走ー 名ある雲ハ大さ不出来
月と月五月雨おむ面白し
月と月次の月ころも玄月 日星二月玄
月と詠きけるべし
雲きらば条ハ消すべし
月と降きらば月雪の朝
月夜の宵 月晴る月銀雪雲
星月夜 月次の月
右月のまゝとても雨の月と不用之
初字のつく 秋、九月、
なり、めり、とそ、又、也、候、

何、幾、さぞ、や、か、ぢり、
つ、ん、き、し、ふ、向ふし、
ぬよし、河し、ゞり、ゞれ、
けめ、らん、らし、らめ、た
れ、たゝ、たる、いさ、いさゝ、
いそ、いそぐ、いつ、いつく、
づと、そ、ちいつ、いつ、ゐ是、
きど、きそ、きぜ、ゑ、け、せ、
て、れ、へめ、是、な、よ、そ、ゐ
古の那、二字切、大口一、
を用ひ、三段切とするも可
芭蕉翁当流（俳諧）語
一格に入て格を出る時、せさく
又格に入る時、格を一ぶ格

ふ入格とうて格を一ぶ格
ぶ一詞多文字の体
句末向上の一格
四清にみる一字半
一他の句ハ粉色のみ
季の句ハ季画のみ
彩色乃ま記も可
つゝかゝるゝきゝをゝ
てゝ
一名人ハ他をよく調ふべし
まよあれてハ名きおゝ
上るハつゝれおゝ
可り

一字新作俳才で吟味す
一古き撰集眼をさらし
一系門の風流を学ぶ
春の初日三面新たの日出の日
猿みひさご打ち破り蕉翁熟
覚束ー発句は時代くと考
ぞー

一初のうちは白雄をとり
へー支考姿情をわすれ大
山を越へ向ふの林
松栗屋ー六尺を試んと欲
するものは七尺を望むへ
ーされがんこうこれ時
入やさうんかひくこれ古人の拍

中にもうるさく
一俳社は中人以下のもの誤
まるは俗語を平話とのみ覚
かるゆへ俗談平話をたゞ
んこうをも拙きをそろふよ
なばかりを覚そろふは沙は
ぢまり俳諧は万葉集のみ
それ天子より士民まで時
ふたゝび唐土をへて中興
の豪傑も愧ることなーたゞ心
それやーをを砥
一まゝおを学要たるその國
ハてゝは才一のみまれ先
哲の位を味ひ一字も廃ふ

るゝハなるべし句乃姿を
まつ杉の小島ゝ松まつなどめく
ふしぎれく微風のはやみに
もすくうれ情ハ人君よ宗
於なる春ぬの月を鏡とも
し自句ハうす月秋よ林乃
句へなるらくはるべし

俳諧五喩

一色合の繪　色合とハ其身ハ錦
一切よりも見えるもの
そのひとつのうらく静秋春夏冬を
出来ぬ合を行ても色逗入用乃
時よりうらんあり

一五尺のあやめ　其句の俳諧ハとかくや
すらにはて五人なけよ

ふしぎなく句をもつて事あり

一一夜の柱　輪あらで夜のあき附
まる物の柱くうて見えず
出れまる堂まうくた右あ渡まあ南
小戸口背戸座し紀まあところの背を
方角をきは先まゝ句文ての先く於句を
又まくめて付句の輪句をききあるは
ゐ句を捨るべし

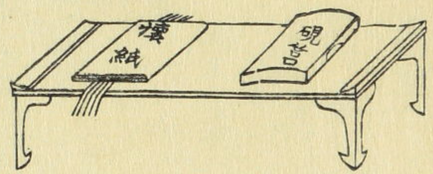
一人の顔だせ　人の目さめくの生れ
つきなりの句文その
ごく於句をつまきくめに縞よ紀
ものをとらちに行べしとし

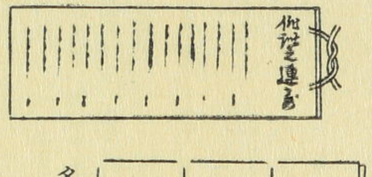
一蓮れ莖　付句八十のものを三
つの房ちとも莖乃
茎をわけてみるに蓮をひき出さし
先頭のきれさる之すれものの三つ
はく泥上の句とは云つくるあから
なり四つつくるなるしよく立まもし

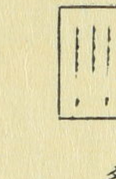
發句作るの子

發句ハ屏風の画とみるべし己が句
を作らく目ばかり画を添へくみる
べし発語おのづからなるの之又付る
ともも目ばかりで眼おらえるべし人よ
思ひなるつくするハ見ゆるの推をあ
目ゝよてあるとらく思て付句を自ら
他人のさまひ見まよし

文章法之図　筆情銭之条







一硯を左に筆を右に置くべし墨汁小刀又こまかきも入るべし

一文庫乃至手箱を傍に置くべし

一家広く連て厄介多き人は執筆を修業の為に家広く連置くべし

一あんまりつづくる硯を用ゆるべし

一硯の右に水入を置くべし

一 宗匠ふたゝび吟じられしを
書附右の手ニ筆をもちて右
の膝を立て気色よく順く
ニ吟じ上べし尤も高からぬ声
句とハ二度も吟ずべし吟し
終れバ宗匠と連衆へ挨
拶しくるみ書を以ての如
く猶又膝を下して座す
うごかす座す也

一 筆をとり初るより擱筆
を硯箱へ入るまで筆を下に
置ことあらバ文台の右筆之
しれきさゝ毛先を少し出し
ておくべし

一 表八句出来ぬらくさる時
白紙ニつけ史やうなる折
紙をとるため裏うつれ
る句をよくうらくえ

一 裏十四句出来のとき筆乃
跡して表ノ紙をきぬけ折る二
折を押へて初折を左の手
にて文台の向へ出す

是又お紙をとんかたぬなり
初二折ちより裏のつきそる
うめくことあるハまてありし二ノ
折目しく名残の折ハあるさバ
まへるべし

一 さし合去嫌をゆめく油断
有べからず

一 威義を正しく安坐せバ座を
たてバ菓子茶酒餉等
都吟のうちすべてうてバ眠眩等
どてしむべし

一 吟声ある句あるべし三ノ
折よりハおしてこゝ寄句ニ吟
ずべし一座の志見るハ執筆
乃難なり宜坐の運座なき
やうにすべし

一 おかへぬ文字並ぬ文字
ハ仮名にて書べし さし合を
くるとも書く懐紙をとる
ゆるすべし

一 連衆の連座ありて是等
披露する時ハ見えよし三四
句かるゝと吟じ上ぐべし

一憤発すべきの心なくんばあるべからず
又若くして多くの書を読むべし
右執筆の法かくのごとくなるべし
とくらもとの大旨を記す
好とするところの口伝あり口余窓
忽忙談ずるに遑あらず
お改写さるべきものなり
を恐れるに因若す功あるの人々
よりて写すべきのみ

着座之事

一出座退座ともに主君を越ること
一貴人と同座の時は一段下座すること
一貴人と呼ぶに一字名を呼ぶこと
一自分の名を答ふる時一字名乗ること
一他の名を称する時一字名乗ること
一他の名を称し話向をするときに
一自分と他の名を称する時に
一目礼数を為すべき所のこと
一睡眠欠伸

右の外千万の法式あり師に就て
学ぶべし
一敬意の念を以て
のぞむべし
一貴賤の人を以て
のうちなり
一退出する時に
くるときも迷ふことなく
おもてをむけて
又一度立停まるの
もあるべきものなり
もし思慮一定
一主君より一段下の位合ひまでを
目の下位合と云ふ
此座合の
話向のうかがふべきを
従容より
べし

脫五語詮之

木漆

杜杜千鳥のとまる秋の
淋しさけわく雪の平田
み狩
ひさかふよ虹ふ蜂門
楢の葉ふをふ
遠方
月夜の夢と許たる
淵ふちくれふ
狂為
杉ふ添てもうふ
垣根ふ虫の門
到方
雪夜七重七巻伽著八重
暁ふもむこふ

分類十体詮之

虚

雲尻の茅葺
もし一味ふ
ふふくふ音の

實

近江の田植
ふふく
那ふ
自
ふ記ハ
於ふ
次ふ
他
ふ杉
玉ふれ
ひでふ
多
馬士を
月夜
ふのふ
女
ふふく
ふふの
仕業
詮
詮ふふく

理 有
甲發の於てハ亡の發來
後悔のミちくさハ吉の發來
遠 有
法ても吹るも軍ニ中
於所のひとつ多仏のおしえ

用
ニ春ニ羽紙めぐミ
ちりさる白の牙
商ひも申るとく
氣
年 春のそのびとつ
髪きる午月の
ぎちよう西の
質
ニ又する
ゑの世の
法ニ

其人
まるのくるくる紀新
駕此ニハ又新 かく
其頃
曜をちくまる
との赤も赤のうさ
時分
くるくる幸ニ縄を
飛ちくる吸古ツの結
附候
ニ祖又の幸
在田ニ
韻有
於ハうちのとハ
ほくるくる
景色
まさも大
ほそう田のまやき
汽有
きのふの文
強有の合ニの
遠有

明治二年五月二十五日出版御届
同　年七月　刻成発兌

定価廿五銭

京都府平民　洋水園
校正人　花乃本芹舎
下京區第七組新門前
中之町二百三十九番地

京都府平民
編輯人　山内梅散
下京區第十二組仏光寺烏丸
上柳町三百九番地

京都府平民
出版人　隅永真助
下京區第十九組五条東洞院
東へ入萬壽寺町百四十六番地

[illegible]の花右句の[illegible]
[illegible]ろうも[illegible]れと
心月
漢よ[illegible]
俤郷の[illegible]
雪
[illegible]雪の[illegible]地と[illegible]
美人も[illegible]
寂
町角の[illegible]
行[illegible]
梶
星さ[illegible]
[illegible]紀八郎と軍の[illegible]
句
句ハ一巻の句[illegible]
句ニ[illegible]
[illegible]

芭蕉翁逝語録

京都書林

沢田友五郎
藤井佐兵衛
川勝徳次郎
田中治兵衛
大谷仁兵衛
杉本甚助
佐木總四郎
村上勘兵衛
福井源治郎
須賀勘兵衛
福井幸助
辻本仁兵衛
今井七良兵衛
辻本九兵衛
笹田辰之助
中西嘉助
竹岡支助
神先治郎助
細川清助
山田茂助
永田調兵衛
西村九良右エ門
藤井浅次郎
西村七兵衛
若林茂兵衛
若林喜助
神先宗八

藤井卯兵衛
出雲寺文次郎
藤井孫兵衛
島林專助
石田治助
風月荘右エ門
梅村伊兵衛
菱沢重助
下村和助
川並卯助
小林荘兵衛
伊東久兵衛
小川多左エ門
近藤太十郎
寺井米吉
今井喜兵衛
林由兵衛
西川治助
沢田吉左エ門
本城小助
川島九兵衛
北村四郎兵衛
北村善兵衛
内藤彦一
森田武助
白井平兵衛
丸屋善兵衛

大阪書林

豊田熊太郎
遠藤平左エ門
島居又七
柳原喜兵衛
松村九兵衛
前川善兵衛
森本太助
梅岡亀平
吉倉沢政七
岡島真社七
岡田藤三郎
中島徳兵衛
浅井吉兵工
塩冶芳太郎
辻本新七
山口恒七
橋本徳兵衛
丸谷善蔵
中尾新助
前川源七郎
中川宗四郎
小島伊兵衛
岡田茂兵衛

東京書林

三木彦七
小谷卯兵衛
吉田善蔵
花井卯助
北尾禹三郎
鹿田静七
赤志忠七
中川勘助
北村庄助
林定七
田中太左エ門
沢田幸助
大野木市兵衛
真部武助
三木平兵衛
浅井藤八
山本政次郎
野原新兵衛
濱李伊三郎
松田正助
湯川孫兵衛
中尾啓蔵
山中市兵衛
石川治兵衛
長野亀七
岡田文助
橋田佐吉

名古屋	岐阜	伊勢桑名 四日市 神戸 肥田 居	久津	松山
豊田 伊藤 清九郎	栗田 東平	川瀬 代助	矢田 藤兵衛	片野 藤四郎
加藤 吉三郎	鬼頭 平兵衛	梶田 源助	美濃伊 六	
小沢 崖堂	岡安 喜左衛門	久保田 鉄藏	平野 利兵衛	大塚 茂兵衛
東	岡崎 左助	酒井 安兵衛	平沢 潤助	杉本 喜平治
篠田 伊十郎	吉川 仁平	服部 利三郎	吉田 伊作	伊藤 善太郎
本屋 佐兵衛	柏屋 助	木屋 嘉助	加藤屋 長平	

越前福井	加賀大聖寺 金沢	近江長濱 彦根 八日市 幡	八	大津	山城伏見 大和奈良
森下 元次郎	岡崎 喜左衛門	酒井 安兵衛	平沢 潤助	杉本 喜平治	大内 幣六
栗田 東平	片野 藤四郎	矢田 藤兵衛	川瀬 代助	豊田 伊藤 清九郎	北畠 茂兵衛
篠田 伊十郎	吉川 仁平	服部 利三郎	吉田 伊作	伊藤 善太郎	森 元次郎
本屋 佐兵衛	柏屋 助	木屋 嘉助	加藤屋 長平		
東	岡安 喜左衛門	久保田 鉄藏	平野 利兵衛	大塚 茂兵衛	伊藤 善太郎
小沢 崖堂	加藤 正兵衛	鬼頭 平兵衛	梶田 源助	美濃伊 六	
加藤 吉三郎	篠田 伊十郎	吉川 仁平	服部 利三郎	吉田 伊作	伊藤 善太郎
本屋 佐兵衛	柏屋 助	木屋 嘉助	加藤屋 長平		
豊田 伊藤 清九郎	栗田 東平	川瀬 代助	矢田 藤兵衛	片野 藤四郎	北畠 茂兵衛
名古屋	岐阜	伊勢桑名 四日市 神戸 肥田 居	久津	松山	